

瀬戸内





ココ！



岡山県

瀬戸内市移住ガイドブック

岡山県の南部、県庁所在地の岡山市の東に隣接する瀬戸内市は、風待ちの港町「牛窓」と、刀剣の里「長船」、そして肥沃な平野に恵まれた「邑久」という3つのエリアから成る豊かなマチです。農産物や海産物に恵まれている、瀬戸内海が多島美を楽しめる、アートやクラブに関わる人がたくさんいる、どれも市の魅力のひとつです。でも、本当の魅力は、ここで暮らす人それぞれとマチの関わりによる、日々の営みの中にあるのだと思います。

あなたはここで、どんな瀬戸内と暮らしますか？

いろいろな農業があるから、それぞれに豊か。



牛窓地区では白菜やキャベツ、冬瓜などの露地野菜栽培、邑久地区では平野部での水稲栽培と、大粒の種無しぶどうであるニューピオーネや、レモン、みかんなどの果樹栽培が盛んです。

また、慣行農法だけでなく、有機農法、自然栽培、自然農といった、多様な農法を営む方がいること、そうしたさまざまな価値観の農家や事業者が協力し、産地のブランド化、販路拡大、地産地消といったテーマに取り組んでいることが、瀬戸内市の農業における一番の魅力です。

[農業]
とくらす
瀬戸内



皮まで安心して食べられる地元のレモンで
地元の事業者が創った焼き菓子です



原料にこだわるうどん店は多いけれど、
小麦から生産しているうどん店は瀬戸内市にしかないかも





地域の暮らしと共に育む、海の恵み。

1926年、高等小学校の教員による提案から始まった牡蠣養殖は、現在もお瀬戸内市の代表的な産業のひとつです。邑久町漁業協同組合、牛窓町漁業協同組合では、牡蠣養殖の振興に加え、海苔養殖、アマモ場の再生にも取り組んでおり、また、牛窓朝市の開催や、後継者の受入、育成、海岸美化活動などを通じ、地域内外との連携も強化しています。

2014年には地域の6次化商品が農林水産省のコンテストで金賞を獲得したり、2019年には邑久町の牡蠣養殖がMSC認証を受けるなど、取組の成果も形となって紡がれています。



MSC認証とは、持続可能で適切に管理と環境に配慮した漁業を認証する制度で、「海のエコラベル」とも呼ばれています。「資源の持続可能性」「漁業が生態系に与える影響」「漁業の管理システム」の三つの原則に則って審査されます。

MSC認証の水産物は、どこで、誰が獲ったものかが保証され、食の安心を提供してくれます。また、MSC認証の商品を消費することでルールと環境を守った漁業を応援することになり、世界の海に生きる色々な生物や人の暮らしを守ることに繋がります。

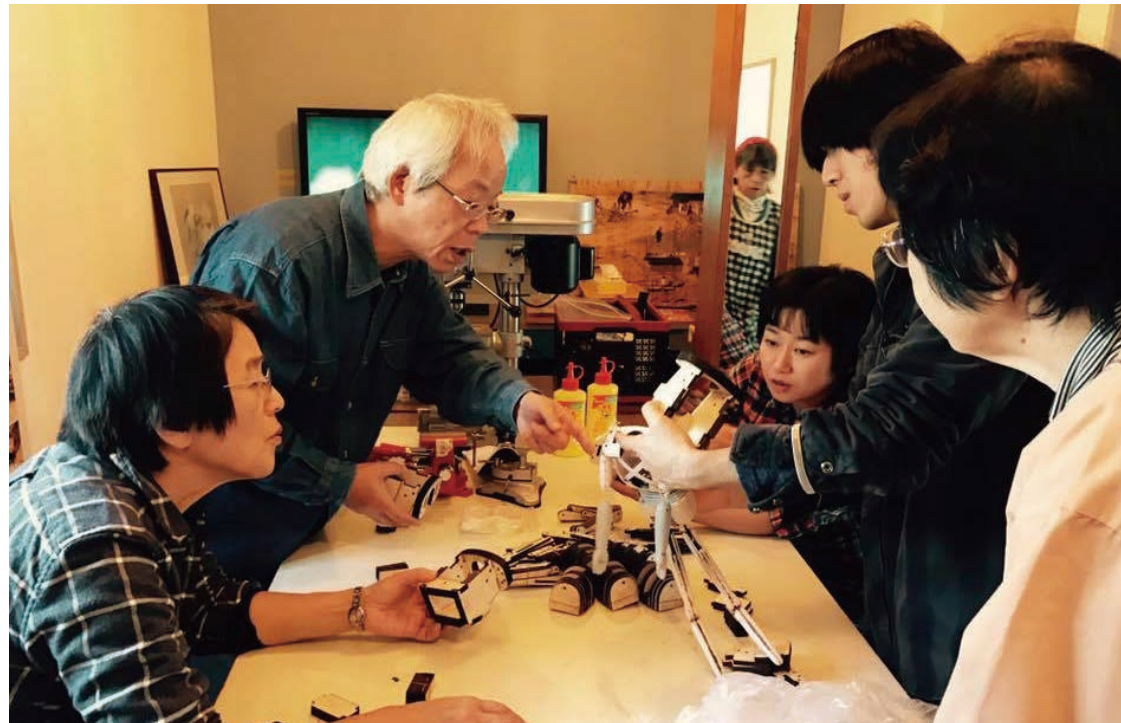
邑久町の牡蠣養殖は、垂下式カキ漁業として世界で初めてMSC認証を取得したものです。

【漁業*】
とくらす
瀬戸内



地元の縫製工場が、地元の高齢者のために始めた食堂でライブペインティング、マスキングテープと伝統舞踊のコラボ、地域の郷土館が生まれ変わった「BIBI」、こんなことも瀬戸内市ならではの暮らしの中で自然に行われています。中世の商都「備前福岡」を再現した市も他の地域に波及し、「玉津の市」や「牛窓朝市」などが生まれています。その他にも、備前焼のルーツである寒風に集う陶芸作家や、刀鍛冶を始めとする刀剣製作に関わる職人など、様々な歴史や文化に触れる機会があるのも瀬戸内市ならではの。

歴史も文化も、そして新しい未来も、暮らしの中に。



【*文化*】
とくらす
瀬戸内

普通の映画館はなくても、最高の映画館ならある。

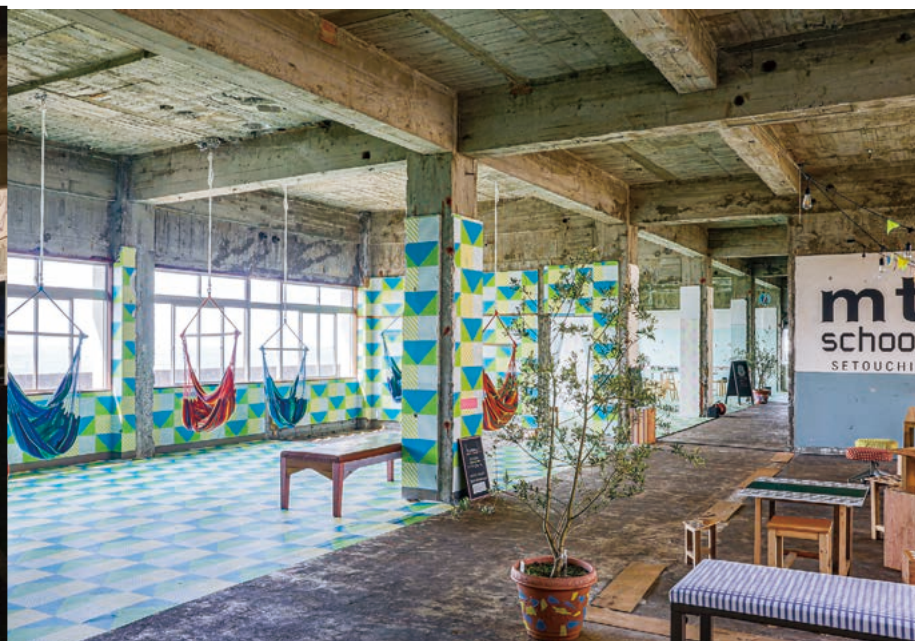


あの場所、この場所が、その夜だけの特別な映画館になる……晴れの国おかやまの、瀬戸内海に面したこの町で、みんなで集まって映画を楽しもうというシンプルな想いから生まれたイベント、それが「瀬戸内ほしのさざなみ映画館」です。

歴史や自然など、古くからそこにある魅力。
それだけじゃなく、現在進行形の魅力作りがあるのも瀬戸内市。
牛窓町の「チャーリツ」病院として親しまれていた建物も、今まさに新しい歩みを始めたばかりです。



【*今*】
とくらす
瀬戸内



誰でも遊べるから、誰でも子どもになれる。



【子ども】
とくらす
瀬戸内



「瀬戸内市子どもひろば」は『外遊びを楽しむまち。瀬戸内市』を理念に、市全体が子どもの遊び場、赤ちゃんからお年寄りまで、すべての市民が参加できる「子どもひろば」となることを目指す取組です。プレーカーの派遣などを通じ、地域や施設と連携して外遊びを推進しています。

また、「子ども医療費給付事業」「すくすくチャイルドサポート事業」「特定不妊治療・不育治療費助成事業」など、「子どもひろば推進事業」を含む11の重点施策によって、子どもの健全育成を図っています。





移住先を決めるには、考えることがたくさんあります。また、その優先順位も人によってさまざまです。でも何より、その地域が自分自身に合うか合わないかは、地域の空気に触れた瞬間の直感に左右されることが多いのではないのでしょうか。

瀬戸内市移住交流促進協議会「とくらす」は、移住先選びや家探しのお手伝いはもちろんのこと、起業や継業、就農といったお仕事についてや子育て環境や通学に関すること、地域に馴染みやすすくするための施策、リモートワークや多拠点居住への対応など、様々な取組を行っています。

それぞれの取組について、限られた紙面で詳しくお伝えすることはできませんが、瀬戸内市では人々がどういった暮らしをしているか、まずはこの地域の空気を伝えたいという思いから、この「瀬戸内移住ガイドブック」を作りました。

いわゆるガイドブックとは少し趣が異なっているかもしれませんが、もしかしたら、ガイドブックとしての役割も果たしていないかもしれません。

でも、この不思議なガイドブックを最後までご覧いただけたということは、きっと瀬戸内市の空気に、何か共鳴するものを感じられたのではないのでしょうか。ぜひ、それが何であるかを探しに、瀬戸内市を訪れていただけたらと願っています。

「とくらす」は、名前の通り「瀬戸内市『で』暮らす」人だけではなく、「瀬戸内市や、瀬戸内市の何か『と』ともに暮らす」人を増やしたいと思っています。

移住の予定が具体的になる前でも、市内の案内や、リモートでのご相談、資料のご提供などはいつでも受け付けております。どうぞ、ご遠慮なくお尋ね合わせください。

お問い合わせ先（瀬戸内市役所）

移住定住支援、空き家情報バンク、IJUコンシェルジュなどについて
瀬戸内市移住交流促進協議会「とくらす」
（総合政策部 企画振興課内）
TEL：0869-22-1031

就農や起業・継業などについて
産業建設部 産業振興課
TEL：0869-22-3934（農業振興係）

子育て支援、瀬戸内市子どもひろばについて
こども・健康部 こども政策課
TEL：0869-24-8015

保育園・認定こども園、子育て支援センターなどについて
こども・健康部 子育て支援課
TEL：0869-26-5946（児童保育係）

観光振興、文化財などについて
文化観光部 文化観光課
TEL：0869-22-3953

とくらす web

<瀬戸内市移住交流促進協議会>

<http://setiju.com>



瀬戸内市公式ホームページ

<https://www.city.setouchi.lg.jp/>



とくらす
瀬戸内

令和3年3月31日発行

表紙絵：宗田 佑介
表紙デザイン：《《（セン）

発行：瀬戸内市移住交流促進協議会

瀬戸内市役所総合政策部企画振興課内
〒701-4292
岡山県瀬戸内市邑久町尾張 300-1
TEL:0869-22-1031
FAX:0869-22-3304